



デジタル時代のキャリアデザイン

情報流通行政局衛星・地域放送課地域放送推進室長

金子 創 KANEKO HAJIME

情報通信
(ICT)

Q 総務省への入省を志したきっかけを教えてください。

国や地域に役立つ仕事に携わりたいというのが始まりです。最終的に、ローカルからグローバルまでを扱う国の業務の拡がり、行政官としての自分の将来に幅広い可能性を与えること、また、全国から多様な人材が集まる職場なら自分もキャリアアップできるはず、と少々都合の良いことを考えました。情報通信行政を選択したのは、やはり「高い将来性」を感じたから。現在のデジタル社会を見通していたかと問われると甚だ怪しいですが、結果として、選択は間違っていなかったと実感しています。

Q これまでで、もっとも印象に残った業務を教えてください。

入省から3年を経てメキシコに留学しスペイン語を習得、その縁で、南米ニカ国の日本大使館に勤務しました。情報通信の国際的な拡がりを実感させられるとともに、世界から日本を眺め、改めて日本を知る良い機会となりました。また、複雑化する通信サービスの利用者からの声を直接伺い、通信事業者を巻き込み利用者目線に立つて契約トラブルの解決に取り組んだことも印象深いものです。一方で、いずれのポジションにあっても、職場の内外を問わず尊敬できる素晴らしい人との出会いは仕事の励みとなり、また、一緒に仕事に打ち込んだ仲間との絆は宝物です。

Q 現在の携わっている業務について教えてください。

放送行政に携わっています。私の室は、12人のチームにより、ケーブルテレビとコミュニティFM放送分野を担当しています。実は、日本の世帯の半数はケーブルテレビによりテレビ放送を視聴し、また、市町村の限られたエリアにおいて提供されるコミュニティFM放送局は、全国に約340局存在し、地元密着の情報を発信しています。放送は、国民の「知る自由」を保証し、「社会の基本情報」の共有といった重要な機能を有しています。日本各地に放送サービスが提供され、地域住民が必要とする情報に触れられるよう、放送の社会的役割の維持・発展に取り組んでいます。

Q 情報通信分野での総務省の役割を教えてください。

スマホなしの生活って考えられますか？皆さんの生活に留まらず、社会全体が情報通信に深く依存し、その技術も急速な進歩を重ねるなかにあって、総務省は、国民一人一人が、安心・安全で快適に、そして最先端のサービスを受用できるような環境作りに取り組んでいます。フェイクニュースや個人情報保護、サイバーセキュリティといった新たな課題への対応、更に、情報通信が持つポテンシャルを経済成長や社会変革(DX)に繋げる、こういったものも総務省の重要なミッションになります。

Q 情報通信分野でのやりがいについて教えてください。

新型コロナウイルスの流行により、リモートによる日常生活の実現が課題となり、それを支えたのも情報通信技術です。担当者としてブロードバンドの整備促進に取り組みましたが、その成果が活かされた実感できた瞬間でした。世界各国がしのぎを削り、今後も急速な発展が見込まれる情報通信技術。ポータルなプラットフォームサービスの普及やデジタル技術の社会への浸透、AIの急速な進化、リアルとバーチャルの融合が進むなか、新しい技術やサービスがもたらす影響は、ときに新たな社会課題を生じさせるなど、情報通信行政には新たな事象にチャレンジする機会も多く、そこに多くのやりがいと自己成長を実感できる要素があると思っています。

Q 受験者へのメッセージをお願いします。

私は、いわゆる「バブル入社(入省)組」で、よくネタになる、ディスコで踊り(私は踊れない)、24時間働けますか(これは近い)の時代に入省し、失われた30年といわれる時間を生きてきた訳ですが、振り返るに、情報通信技術は大いに発達し、社会のデジタル化が急速に進むなかで、自分もキャッチアップを迫られ、勉強をし(学生時代よりかも?)、(何とか)時代に取り残されことなく、今に至ったと感じています。VUCAの時代を生き抜く素材に事欠かないのが情報通信分野の特徴。時代に相応しい自分をデザイン出来る、そんな職場だと思います。ネット情報のみをアテにせず、是非、我々スタッフと言葉を交わして総務省を知って頂けると嬉しいです。



CAREER PATH

1991~1993年

郵政省電気通信局電気通信事業部
データ通信課

新規参入電気通信事業者の提供する企業向け通信サービスの契約約款審査に従事。

1994年~1995年

日墨交換留学

日墨交換留学生として、メキシコ・グアダハラ大学に留学しスペイン語を習得。

1999年~2002年

在パラグアイ日本国大使館
二等書記官

経済協力担当として、通信のほか、農林業や医療保険、教育分野などの二国間協力事業を推進。

2007年~2011年

総合通信基盤局電気通信事業部
高度通信網振興課課長補佐・
高度通信網推進官

全国的なブロードバンド整備の促進に携わる。光ファイバ整備促進のための振興法の改正にも従事。

2011年~2014年

在ブラジル日本国大使館一等書記官

経済担当として、ブラジル・南米地域における地デジ日本方式の推進、また、デジタル分野における日本企業の進出を支援。

2016年~2018年

総合通信基盤局電気通信事業部
消費者行政第一課消費者行政調整官

通信サービスの契約における利用者のトラブルの回避、解決を支援。通信事業者の適切な営業活動の実施を促進。

2021年~2022年

北陸総合通信局情報通信部長

北陸地域における、通信・放送サービスの適正な提供の確保を行うほか、地域のデジタル化やDXの取組を支援。